

# 発 刊 に 寄 せ て

## ■南信州地域の農業

当地域は天竜川沿いに連なる段丘の平坦地帯とそれに続く山間の傾斜地に耕作地が点在し、標高差のある変化に富んだ地形や温暖な気候を活かして、果樹、野菜、花き、畜産、菌茸などバラエティーに富んだ農業が行われています。

特産の「市田柿」は、平成28年に農林水産物等の地理的表示（G I）保護制度に県下で初めて登録されるとともに、1921年から「市田柿」として販売し100年を超え、また、輸出も台湾など東南アジアを中心に50 tを超えるなど、更なるブランド化を進めています。

また、地域の特性を活かしてお茶や信州の伝統野菜も各地で栽培されているほか、6次産業化の取組も盛んで、最近では管内で醸造されたシードルが各種コンクールに入賞されています。

農業を取り巻く様々な課題がある中、当センターにおきましては、農業者及び関係機関・団体の皆様と連携して、南信州らしい特徴ある農業・農村の振興に取り組んでいます。

なお、本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら普及活動を行いました。年明け後には新たな変異株により感染者が増加したため、やむを得ず延期や中止などの対応をとり、計画どおりの活動ができなかった1年でした。

## ■今年度の普及活動の取組

第3期長野県食と農業農村振興計画の4年目の本年度は、振興計画の重点戦略に基づき普及活動計画を策定し、農業者や関係機関・団体と連携して役割分担しながら活動してきました。

特に地域で重要かつ緊急的な2課題については、重点活動として位置付け、プロジェクトチームにより課題解決に当たりました。

### 【重点活動】

《ぶどう無核大粒品種「シャインマスカット」の産地振興》

産地化を進めている「シャインマスカット」について、3年目となる今年度は、『南信州シャインマ

スカット研究会』の皆さんを対象に、SNSを活用した栽培管理方法の共有や小集団活動による課題解決のほか、基本的な栽培管理技術の動画マニュアルを作成し、農業者同志が連携して品質・規格の揃った果実を生産できる態勢を整えました。

《地域性を活かした魅力あるきゅうり経営の推進》

当地域の主要な品目のきゅうりについて、J Aみなみ信州と連携して本年度から活動を開始し、産地強化に向けた新たな経営モデルの提案やICT活用による生産安定、担い手の育成を柱に、将来に向けて生産基盤の強化を図っています。

### 【一般活動】

振興計画の重点戦略に基づき、一般活動課題として、多様な担い手の確保育成や生産力の向上、地域の活性化等に取り組み、特に、最近の取組事項である「GAP」や「カイゼン」においては新たな取組者への横展開を図るとともに、スマート農業機器の紹介やお試し導入、モデル的な取組を支援して、「スマート農業」の導入・普及を進めています。

## ■将来を見据えて

本年度の普及活動に御支援、御協力をいただきました多くの農業者や関係機関・団体の皆様に改めて感謝申し上げます。ここに、令和3年度の普及活動の成果を「普及活動実績集」として取りまとめましたので、南信州地域の農業振興に御活用いただければ幸いです。

当地域は、リニア中央新幹線等交通インフラ整備により、地域を取り巻く環境が大きく変わりつつあります。また、昨年5月に策定された「みどりの食料システム戦略」や地球温暖化など、農業を取り巻く情勢等の変化に加え、ウイズコロナ・アフターコロナにも配慮しながら、今後も関係機関・団体の皆さんをはじめ、民間企業の皆さんともこれまで以上に連携して普及活動を行ってまいります。 令和4年3月

南信州農業農村支援センター所長 春日敏彦